

2022 年 12 月 23 日

外部評価委員会委員長
原田 園子 先生

2022 年度外部評価委員会評価を受けて

神戸女学院大学
学 長 中野 敬一
PDセンターディレクター 金田 知子

このたびは、2022 年度本学自己点検・評価活動について、詳細かつ的確な点検・評価を賜り、まことにありがとうございました。ご指摘いただきました点を真摯に受け止め、今後の活動に反映して参ります。各組織へのご指摘については、その回答を本年 12 月末に学内の自己点検・評価システム上で公開する予定です。ご確認くださいようお願い申し上げます。総評におきましても、本学の活動全般について多岐にわたるご指摘・ご提言をいただきました。下記にご回答申し上げます。

1. 本学における自己点検・評価活動が、PDCA サイクルに則り、適切に行われているとの評価をいただいたこと、大変ありがたく存じます。他方、根拠資料が不足していることや、学科間での記入内容や根拠資料の統一感がない点は、各組織の執筆者、自己評価委員会および大学企画評価会議で情報共有しつつ、注意喚起して参ります。また、B 表の点検・評価項目（および評価の視点）に関しては、各組織の活動に鑑みて、それらに適した項目のみを対象に現状説明を行うよう、すでにシステム化されております。各組織における点検・評価項目の適正については、次回のシステム変更の際の検討事項といたします。
2. 新学部設置構想については、外部コンサルタントの情報や意見などを伺いつつ、各学部学科内や大学改革委員会で議論を重ねて、進めて参りました。今回の改組では、入学者減に伴い弱体化しつつある各学部学科の強みをより際立たせるため、国際学部および心理学部の設置という結論に至りました。そうしたなかでも、もちろん時流や学生たちのニーズに合った、学部学科の垣根を超えた魅力的な教育プログラムの提供については、引き続き、検討して参る所存です。
3. その他、IT リプレイスや WiFi 環境の向上に関するご提案、広報活動に関する点検および効果測定へのご助言、女性学インスティテュートの位置づけや名称へのご意見については、それぞれ各組織の責任者に申し伝え、本年度 3 月末までに組織内での検討の結果を報告するよう、依頼しております。長期的対応が必要な事案については、2023 年度の計画案に盛り込まれることになるかと存じます。

2022 年度も昨年度に引き続き、外部評価委員のみなさまには、多くの項目を点検評価していただきました。あらためて心よりお礼を申し上げます。今後とも本学の歩みを見守りお支えくださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上